

学校だより

地域の方から学ぶ、地域で学ぶ

坂内小中学校

小学校の子が祖父母の方と一緒に遊ぶ会を企画し自分たちの手で進めました。参加者には「自分の子どもの頃にもどったよう」と喜んでいただけました。また坂内の昔の暮らしについてお話を聞き、先人のご苦労があつて今の坂内があることがよくわかりました。



見て、聞いて



初めて知った事実

中学校では、一人暮らしのお年寄りを訪問し、ふれあいの場をもつと共に花を届ける活動を福祉教育の一環として行いました。生徒全員が坂内地区、広瀬地区、川上地区の担当に分かれ、自宅を訪問して交流することができました。お年寄りの方々も大変素晴らしき笑顔で生徒たちを迎え、喜びの声をかけていただきました。その姿に子どもたちも温かい心を感じていました。冬もまたこのような活動を計画していきます。



手渡しでプレゼント



笑顔と言葉がうれしくて

地域の人や歴史とふれあつた 大和小ふれあいウォークラリー

早朝から好天に恵まれて気温も三十度まで上がり、まるで真夏を思わせるような陽気の中でふれあいウォークラリーを行いました。



今年には極楽寺、播隆山、南方方面を歩きました。全校児童は縦割りで二十四チームに分かれ、六年生が各班のリーダーとなり班の子たちを上手にまとめ上げました。

コースには十四のチェックポイントを設けそれぞれのポイントで仲間と協力しながらクイズを解いたりゲームを行ったりして他のグループと点数を競いました。

昼食は全校児童がそろって、播隆山の中腹で「私たちの町、揖斐川町」を眼下に眺めながら仲良く食べました。



大和台にある薬師寺では地域の方を講師に迎え、この地域の歴史について教えていただきました。

現在の薬師寺の前に残っているお堂は横蔵から持ってきたもので保育園としても使われていたが、その後、保育園は大和小の横に移ったこと。薬師寺の東にある墓地には、この辺りを治め

ていた最後のお殿様とその世話をしていたお医者さんのお墓があること。薬師寺の西には、桂にあつたお堂が台風で壊れたために新しく庚申堂としてここに移してきたことなどを知りました。



子どもたちは、ラリーの途中で出会った人や横断歩道で安全に横断させていただいたPTAの方々などに大きな声で挨拶をしました。地域の自然や人々そして歴史などに触れながら楽しく活動を終える事ができました。

西濃地区中高一貫教育の 取り組みについて

昨年度から、連携型中高一貫教育校が正式に発足し、連携校三校（揖斐高等学校、揖斐川中学校、北和中学校）では授業交流などが行われています。

授業交流では、次のような成果が得られています。連携校で今行われている「教育」が分かり合える、中高を見据えた授業展開ができ、子どもの成長を長い目で見る事ができる、などがあげられます。

以下は、授業を受けての生徒の感想です。

Speaking（話すこと）の多い英語にとつて、先生がたのお手本とサポートは、本当に欠かせないものになっています。そんな中、河村先生が、授業

に加わっていただけたことは、ぼくたちにとつてより多くの英語を話すことができるのでうれしいことです。しかも、河村先生は、隣の揖斐高校の先生という事で、親しみを感じるとともに、よりレベルの高い高校の英語を丁寧に教えていただけ、毎週火曜日が楽しみです。（揖斐川中学校 3年）



「展開の公式をうまく使うといいよ」と、杉山先生からアドバイスいただきました。その通りやって因数分解が解けたとき、僕はやればできると思いました。先生のおかげで数学に自信がついたので、これからの単元もがんばってやりたいです。（北和中学校 3年）



数学の授業で先生が2人見えることで、質問がしやすかったです。分からない問題を丁寧に教えてもらえたので、大変分かりやすかったです。（揖斐高等学校 1年）

